

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育	主要施策	豊かな心と健やかな体の育成	評価部局	教育委員会 学校教育部	関連部局
施策コード	2221	施策名	豊かな心を育む道徳教育、情操教育の推進					

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 心に響く授業や様々な体験活動、芸術文化活動などの教育活動を行う。 児童生徒が、社会性、善悪の判断力、規範意識などの力を培う。 すべての教育活動において「心の教育」を推進し、命の大切さ、相手を思いやる心、自尊感情を育む。 	成果指標								
			指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
	平成28年度 目指すべき姿	施策の方向性	① 自分にはよいところがあると肯定的に回答した児童生徒の割合(%)	↑	全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙	目標	74	75	75	76	76
				実績	74.1						
	・児童生徒の自尊感情、道徳性の育成を目指し、道徳の時間やキャリア教育、体験活動、芸術文化活動の一層の充実を図る。	重点化	②			目標					
			③			実績					

事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点新規		
					項 H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28			
222102	各種音楽会関係事務	音楽の授業や部活動等の練習の成果を持ちより、演奏技術と鑑賞力の向上、豊かな情操を養う。	吹奏楽のついで、中学校交歓音楽会、小学校・特別支援学校連合音楽会、ジュニアバンドフェスティバルを開催する。	・授業や部活動等の練習の成果を発表することによる、児童生徒の演奏技術や鑑賞力、自尊心の育成	10	1,525	2,193	出演校数・団体数(校・団体)	=	多くの学校・団体の児童生徒が参加し、互いに学習成果を発表し交流することにより、演奏力や鑑賞力の向上を図る。	計画	44	44	
222103	学校園展示物関係事業 (名称変更前「いたみっこアート展事業」)	芸術文化活動を通して、子どもたちに豊かな感性や情操を育む。	市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の園児、児童、生徒の平面作品(絵画等)や立体作品を展示する。 ・市内小・特別支援学校5,6年生が家庭科の授業で取り組んだ作品等を発表する。	・「いたみっこアート展」(毎年実施)、「たみまる子ども家庭科展」(隔年実施、次回平成29年度実施予定)等の芸術文化活動の実施。	10	52	52	来場者数(人)	↑	いたみっこアート展の鑑賞に来場した延べ人数	計画	3,200	3,200	
222104	小学生の自然体験事業 (222105を統合、名称変更前:「環境体験学習」)	環境に関心を持ち、自然に対する豊かな感性や生命を尊ぶ心を育む。	・各学校ごとに、テーマや内容を考え、計画を立て、自然体験活動を行う。(農作物の栽培活動、動植物の観察、天体観察、伝統工芸を学ぶ、オリエンタリング、カヌー、カッター体験、登山など、自然の中での活動等)5年生については、4泊5日で県内の野外教育施設で実施する。	・環境体験事業(3年生)の推進 実施回数 各校3回以上 ・自然学校(5年生)の推進 実施回数 各校4泊5日	10	37,813	38,692	環境体験事業の実施回数(回)	=	小学校において年間に行う環境体験学習の実施回数	計画	3	3	創注
222106	中学校進路指導委託事業	生徒一人ひとりが自己の個性や生き方を理解し、自らの進路を主体的に選択する能力や態度を育成するとともに、各校における進路指導の充実を図る。	生徒が目指す進路実現に向けて、学校説明会はもとより、あらゆる機会を通じて進路情報の収集に努め、各校に必要な進路情報を提供する。	・生徒の進路先の多様化に対応した情報収集や情報交換 ・適切な進路指導を行うことにより、生徒一人ひとりが自らの進路を主体的に選択する能力・態度を育成	10	640	640	各校の進路説明会等参加回数(回)	=	各中学校がオープンハイスクールや進路説明会等へ参加した回数の合計	計画	320	320	

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
222107	「トライやる・ウィーク」事業	地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した活動や体験を通して、生きる力の育成を図る。多様な社会体験活動を通じ、生徒のキャリア形成を支援する。	市内の全中学校2年生が、職場体験活動・農林水産体験活動・福祉ボランティア活動などの体験活動を1週間行う。	・伊丹市トライやる・ウィーク推進協議会における検証。 ・ボランティア・福祉体験活動、ものづくり体験活動への参加促進。	10 01	9,954	9,554	参加生徒数(人)	=	トライやる・ウィークに参加した中学生の数	計画	1,747	1,748	副注
222108	伊丹市生徒会活性化推進事業	児童の権利に関する条約の趣旨を踏まえ、リーダーの育成を図り、各校の生徒会活動の活性化を図る。	中・特別支援学校の生徒が、次世代をリードするリーダーとしての資質を身に付けるため、自由に自分の考えを発表できる場を確保する。	・市内の中学生が、自分の意見を発表、意見交換できる場を設定 ・リーダーの育成、及び各校の生徒会活動の活性化	10 01	67	67	参加者数(人)	1	代表として参加した生徒の合計人数	計画	16	40	
222110	小中学校社会科副読本	・伊丹のよさを知り、自分の住む町「伊丹」に誇りをもてる児童生徒の育成。	各副読本を、毎年、小学校3年生及び中学校1年生に配付する。小学校社会科副読本「のびる伊丹市」は3、4年生、中学校社会科副読本「身近な地域伊丹」は全学年を学習対象とする。隔年ごとに、小中それぞれに編集委員会を組織し、内容について協議し、改訂を行う。	・より使いやすい副読本にするための検討 ・最新データに基づく改訂作業の実施 ・副読本の活用による、郷土のよさに気付き、自分の住む町に誇りをもつ児童の育成	10 01	706	2,100	配布部数(部)	=	社会科副読本を配布した部数	計画	3,640	4,206	
222111	キャリア教育推進事業<名称変更前:「中学校進路指導副読本」>	・キャリア教育を通じて、「日々の学習」と「将来」を結びつける。 ・学びへの意欲を高めることで、学力向上を図る。	・幼小中連携したキャリア教育モデル地域において、キャリア教育の研究を進める。 ・キャリア学習ノートを作成・活用し、キャリア教育を推進する。 ・教職員の資質向上を図る研修を行う。	・小学校・中学校・高等学校の組織的・系統的なキャリア教育の推進の検討 ・社会見学等の体験活動(小学校) ・「キャリア学習ノート」の改訂(小学校6年生・中学校1～3年生)と活用	10 01	1,630	1,635	配布部数(部)	=	キャリア学習ノートおよび進路学習資料を配付した部数	計画	6,071	7,218	副注 重点
222113	道徳教育推進事業	子どもたちの豊かな情操や規範意識、生命の尊重、自尊感情、思いやり、社会性、公共の精神などを育み、精神的に豊かで明るい次世代の伊丹市のまちづくりに資する。	市内2中学校区を指定し、各中学校区の課題に合わせた道徳教育及び「副読本」及び「私たちの道徳」を効果的に活用した授業方法の研究・教科化に向けた授業作り、評価等の研究・情報モラルの指導のあり方の研究、成果等の情報発信(公開授業、実践発表等)を行う。また、家庭・地域と連携した取組・家庭における「副読本」等の活用や地域人材の活用を推進する。さらに、小中連携による取組・小中相互の授業参観や合同の授業研究・研修の実施しその成果を他校に周知する。	指定された中学校区において、各校区の課題に応じた道徳教育研究及び研修を実施しその成果を他校に周知する。	10 01	-	283	研修会の開催数(回)	1	研修会の回数	計画	-	6	副注 新規

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	52,387	55,216